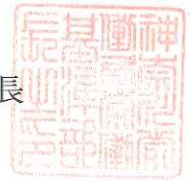


神勞基発 0330 第 1 号の 4

平成 29 年 3 月 30 日

公益社団法人 神奈川労務安全衛生協会長 殿

神奈川労働局労働基準部長



ロープ高所作業に係る安全対策の更なる推進について（要請）

労働行政の推進につきましては、平素から格別の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

事業者には、改正省令に基づき、現在、ライフラインの設置、堅固な支持物への緊結やロープの切断を防止するための措置の実施、安全帯の使用等に加え、作業場所の事前調査とそれに基づく作業計画の策定等作業場所に応じた対策の実施、作業指揮者や作業開始前点検による措置の確実な実施等の基本的な安全確保のための措置を講ずるとともに、ロープ高所作業に従事する労働者への特別教育の実施が義務付けられました。

この一方、平成 28 年の死亡災害発生状況（全国速報値）では、ロープ高所作業に係る死亡者数（ビルメンテナンス業）について、改正省令施行の前年平成 27 年より 1 名減少したものの、1 名となっています。

このため、改正省令により義務付けられたロープ高所作業に係る基本的な安全確保のための措置の履行、特別教育の実施について、改めて、事業者等に広く周知を行っていただくことが必要といえます。

貴協会におかれましては、下記の事項について、引き続き、貴会会員に対して、周知等していただき、ロープ高所作業に係る安全対策を更に推進していただきますよう、御協力をよろしくお願いします。

記

1 ロープ高所作業に係る基本的な安全確保のための措置の履行

改正省令により義務付けられたロープ高所作業に係る基本的な安全確保のための措置について、現場での履行を図ること。とくに、改正省令により、ライフラインの設置が新たに義務付けられたにもかかわらず、平成28年、ライフラインの未設置を原因とする死亡災害が発生していることから、ライフラインの設置、その他の措置の徹底を図ること。

2 特別教育の確実な実施

改正省令及び安全衛生特別教育規程(昭和47年労働省告示第93号)に基づき、ロープ高所作業に従事する労働者には、特別教育を確実に実施すること。なお、特別教育については、学科教育及び実技教育により行われるものであり、実技教育についても適切に実施すること。

(参考)平成28年のロープ高所作業における死亡災害発生状況(速報値)

死亡者数(単位:人)	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成28年 (速報値)
ビルメンテナンス業	1	2	4	2	1
建設業	1	2	2	1	3
合計	2	4	6	3	4

(※)平成28年のみ速報値、他の年は確定値。

(添付)「ロープ高所作業」での危険防止のため 労働安全衛生規則を改正します(平成27年9月)

<http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11300000-Roudoukijunkuyokuanzen-eiseibu/0000104440.pdf>